

職員団体等への新年度予算及び組織改正等に関する説明について

令和8年2月12日（木）
18時～19時
教育委員会会議室

当日進行

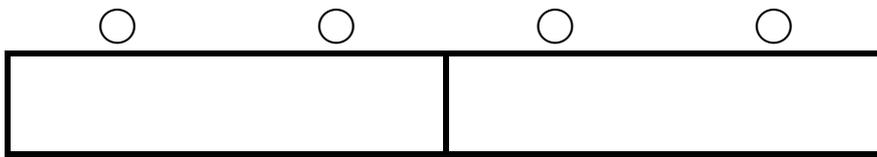
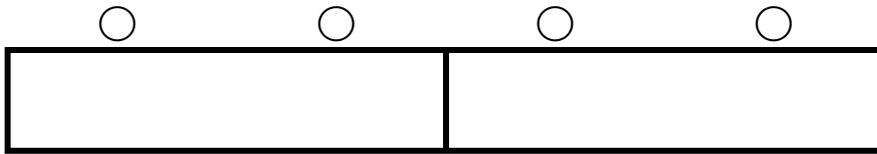
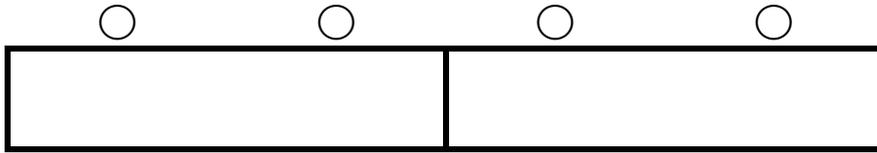
(1) 令和8年度予算（配布資料あり）

(2) 令和8年度組織改正（配布資料あり）

(3) 質疑応答及び意見交換

席次表

入口



津田係長 筒井課長 吉田課長 平井課長

入口



富士原 友西係長 太田係長

組

合

側

当

局

側

2 令和8年度教育委員会予算の主要事業

(R8年度予算案 解禁日)

- TV・ラジオ・ネット 2月16日(月) 午後 会見開始時
- 新聞 2月17日(火) 朝刊以降

1 子供が主役のこれからの学び

事業内容 (◎新規事業 ○拡充事業)	予算額 (単位：千円)
<p>① ○個別最適な学びと協働的な学びの充実</p> <p>子供たちが自分にあった学び方を主体的に選択し、他者と協働しながら学び合い、深い学びにつながる授業づくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに導入したより操作性の良い学習用タブレットを活用し、個々の児童生徒に応じた多様な学びを実現 ・児童生徒の学習状況を把握・分析し授業改善につなげるため、全国学力・学習状況調査に加え、学習用タブレットを活用した市独自の学力・学習状況調査を実施 ・教員と連携して放課後学習や同室複数指導、少人数指導などを行う「学習指導員」を全小中学校に配置 ・「教育課程柔軟化サキドリ研究校事業(文部科学省)」を活用し、小学校4校・中学校3校で各校の状況に応じた柔軟な教育課程を実施 	2,412,718
<p>② 英語教育の推進</p> <p>小・中・高・特別支援学校においてALT(外国語指導助手)との協同授業を行うとともに、複数のALTとの対話型体験プログラムや姉妹都市等との対面・オンライン交流の実施等、生きた英語に触れる機会の充実により、実践的なコミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>また、英検I B Aや市学力・学習状況調査における4技能調査・分析などを通じて、児童生徒の英語力の育成に取り組む。</p> 	1,171,784
<p>③ 体力向上に向けた取り組みの推進</p> <p>児童の体力向上に向け、学習用タブレットを活用して運動意欲の向上・運動の習慣化を図るとともに、「放課後運動遊び事業」を拡充し、運動機会の充実を図る。</p>	27,219
<p>④ 豊かな体験学習の推進</p> <p>小学校において、自然に触れ合う体験型環境学習や集団宿泊活動を通じて、生命に対する畏敬の念や主体性を育むことを目的にした環境体験(3年生)及び自然学校(5年生)を実施するとともに、中学校では、心の教育の充実を図り、職業観・勤労観を育むことを目的にした職場体験等「トライやる・ウィーク」(2年生)を実施する。</p>	220,862
<p>⑤ ○産官学民連携による多様な学びの提供</p> <p>企業、団体や地域等との連携による社会とつながる多様な学びや体験活動を通じて、地域の特色や子供たちの興味・関心に応じた探究学習を推進する。</p>	5,000

<p>⑥ 学校図書館の充実</p> <p>児童生徒の豊かな心と、読解力や思考力、表現力など確かな学力を育むため、全小中学校に学校司書を配置し、読書活動や図書資料を使った授業を行うとともに、放課後等の多様な学びの場として学校図書館を効果的に活用する。</p>	467,634
<p>⑦ ○市立高校における高度な情報教育の推進（DXハイスクール）</p> <p>市立高校において、ICTを活用した探究的な学びや情報等の教育を重視するカリキュラムを実施するために必要な環境整備等を行う。</p> <p>令和8年度：新規2校、継続3校（予定）</p>	29,000

2 一人ひとりに応じたきめ細かな支援

事業内容（◎新規事業 ○拡充事業）	予算額 (単位：千円)
<p>① ○不登校等の児童生徒に対する支援</p> <p>「不登校支援の充実に向けた基本方針」に基づき、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて社会的に自立できるよう、多様な学びの場の確保や支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリースクール等民間施設を利用する児童生徒の保護者を対象に、新たに利用料の半額を補助 補助額：上限2万円/月（オンラインの場合は上限1.5万円/月） ・対面による支援が難しい児童生徒を対象に、オンラインでの学習支援やコミュニケーション支援（こうべっ子オンライン広場）を試行的に実施 ・全小中学校に教室以外の居場所として整備した「校内サポートルーム」に支援員を配置 ・独自の教育課程を編成し、個々の学習状況に応じた学びを支援する学びの多様化学校「みらいポート」（湊翔楠中学校分校）の運営 	525,666
<p>② ○いじめ未然防止学習等の推進</p> <p>児童生徒が主体となっていじめについて考え、理解を深めるために、市独自の学習指導案に基づき、発達段階に応じた授業を実施するとともに、「神戸いじめ防止フォーラム」を開催し、いじめを許さない土壌づくりに取り組む。</p> <p>また、児童生徒のいじめの訴えを早期に把握し、組織的に対応するため、いじめアンケートの電子化を行う。</p>	54,556
<p>③ 特別支援教育相談センター等の充実</p> <p>特別支援教育相談センターにおいて、就学相談を実施し、保護者の適切な就学先選択に向けた支援を行うとともに、学校支援チームによる地域校への支援等により、特別支援教育の充実を図る。</p>	7,141
<p>④ 医療的ケア支援</p> <p>医療的ケアが必要な児童生徒のため、看護師を特別支援学校に配置し、地域校に派遣するとともに、特別支援学校における保護者負担の軽減及び児童生徒の社会的自立を図るため、看護師が介護タクシー等へ添乗し通学支援を行う（月6回・下校時）。</p>	186,786

<p>⑤ ○自校通級指導教室の整備</p> <p>通級による指導の対象となりうる児童生徒の増加に対応するとともに、児童生徒が自校で指導を受けられる体制を整えるため、新たに 23 校で自校通級指導教室を設置する。また、児童生徒の多角的なアセスメントや一人ひとりの特性に合った支援計画作成をサポートする I C T 教育ソフトを導入し、より効果的な自立活動支援を行う。</p> <p>＜自校通級指導教室設置校数＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 8 年度：100 校（令和 7 年度：77 校） ※令和 18 年度までに全校設置予定 	37,731
<p>⑥ 外国人児童生徒等の支援</p> <p>日本語指導が必要な外国人児童生徒等に対し、初期日本語指導教室（日本語ひろば）や日本語指導加配教員による取り出し授業、J S L 教室等を実施する。</p> <p>また、ランゲージ支援員の配置や授業同時通訳支援ツールの活用により、母語による学習支援等を行う。</p>	146,837
<p>⑦ ネット・SNS の適切な利活用に向けた啓発</p> <p>スマホ等の普及を踏まえ、ネット・SNS 上の人権侵害やトラブルの未然防止を図るとともに、子供たちが自律的に適切な利用ができるよう、情報モラル・適正利用に関する出前授業や保護者向けの啓発を実施する。</p>	2,526

3 安全・安心で過ごしやすい環境づくり

事業内容 (◎新規事業 ○拡充事業)	予算額 (単位：千円)
<p>① ◎小学校給食の無償化</p> <p>国等の財政支援を活用し、給食の食材費を全額公費により負担することで、小学校給食の無償化を実施する。</p> <p>(参考) 小学校給食提供単価 357 円/食 (年間で 68,187 円)</p>	<p>— (別途 12 月補正 3,922,320)</p>
<p>② ○中学校給食費の負担軽減</p> <p>保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援の充実を図るため、中学校給食費の半額助成を引き続き実施するとともに、食材費の高騰分を公費負担する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校給食提供単価 434 円/食 → 170 円/食 (保護者負担額) (年間で 82,894 円 → 32,470 円) ※約 4 割に軽減 	<p>— (別途 12 月補正 1,430,114)</p>
<p>③ ◎ (仮称) 竜が台義務教育学校の施設整備</p> <p>小規模化している竜が台小学校・菅の台小学校・竜が台中学校を統合し、竜が台中学校の校地で義務教育学校へ移行するための施設整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 8 年度～9 年度：基本設計・詳細設計 等 	29,117
<p>④ ○東舞子小学校学級増対策</p> <p>児童数の増加に伴う教室不足等を解消し、教育環境の確保を図るため、暫定校舎を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 8 年度：暫定校舎建築工事、給食室改修工事 等 (暫定校舎竣工予定：令和 9 年 3 月) 	143,690

<p>⑤ ○いぶき明生支援学校分校設置</p> <p>特別支援学校における児童生徒の増加対策として、旧本多聞小学校にいぶき明生支援学校の分校（小・中学部）を設置するため、校舎の改修工事を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度～9年度：校舎改修工事 等 (令和10年度開校予定) 		215,794
<p>⑥ ○北須磨小学校校舎増改築</p> <p>土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)の解消及び教育環境の改善を図るため、校舎の再整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度～10年度：基本設計・詳細設計 等 		56,000
<p>⑦ 垂水小学校校舎増改築</p> <p>教育環境の改善と今後の児童数増加に対応するため、校舎の増改築等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度：運動場整備工事、外構工事 等 (全面供用開始予定：令和9年3月) 		176,912 (別途2月補正 228,262)
<p>⑧ 春日野小学校校舎増改築</p> <p>校舎の老朽化やバリアフリー等の教育環境改善を図るため、校舎の増改築等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度：北校舎棟建設工事 等 (北校舎棟竣工予定：令和9年10月) 		437,338
<p>⑨ 義務教育学校港島学園校舎一体化整備</p> <p>老朽化した校舎の大規模改修に併せて小中一貫教育を推進していくため、前・後期課程の校舎の一体化に向けた整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度：前期課程校舎北棟改修、新設棟増築工事 等 (新設棟竣工予定：令和9年3月) 		2,290,568
<p>⑩ ◎学校体育館空調の増強</p> <p>学校体育館について、教育環境及び避難所環境の改善を図るため、空調の増強整備を試行的に3校で実施するとともに、残りの学校について現地調査等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度 試行校の整備 ・令和8年度～9年度 調査業務・事業計画策定 		207,000
<p>⑪ 学校園の大規模・長寿命化改修</p> <p>学校園の老朽化対策を行い、安全・安心な教育環境を確保するため、大規模・長寿命化改修工事を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度：小学校9校、中学校11校 		— (別途2月補正 8,696,821)
<p>⑫ 学校施設のバリアフリー改修等</p> <p>学校施設におけるバリアフリー化等を進めるため、エレベーターの新設及びトイレの洋式化を行う。</p> <p><エレベーター新設></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7～8年度：小学校3校、中学校1校 ・令和8～9年度：中学校5校 <p><トイレの洋式化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度：93.7%完了予定(令和7年度：91.8%完了予定) 		452,693 (別途2月補正 375,659)

<p>⑬ ○水泳授業における民間プールの活用 学校のプール施設の劣化度調査を実施するとともに、プールが設置されていない小中学校等において、民間プールを活用した水泳授業を実施する。 ・令和8年度：5校（令和7年度：4校）</p>	26,438
<p>⑭ ○通学手段確保対策 市立小中学校に公共交通機関を利用して通学する児童生徒のうち、一定の距離要件を満たす者に対し、通学にかかる費用を助成する。 また、路線バスの休止に伴い、大沢小中学校・平野小学校の代替通学手段を確保する。</p>	143,065
<p>⑮ ○神戸モデル標準服のリユース 保護者の経済的負担軽減やSDGs推進の観点から、民間企業のノウハウを活用した社会実験として、神戸モデル標準服の全市的なリユースシステムを導入する。</p>	—

4 子供に向き合い寄り添える学校づくり

事業内容 (◎新規事業 ○拡充事業)	予算額 (単位：千円)
<p>① ◎中学校 35 人学級編制の実施 少人数によるきめ細かな指導体制を構築するため、国の制度変更に合わせて、中学1年生での35人学級編制を実施する。</p>	—
<p>② 教科担任制・学年（チーム）担任制の推進 学習が高度化する小学校高学年において、教科担任制を全校で実施するとともに、中学年において児童の発達段階や学校状況に応じて推進する。 また、学級担任を固定せず、学級における児童生徒の指導等の業務を複数の教員で分担する「学年（チーム）担任制」を積極的に推進していく。</p>	300
<p>③ ○教職員の働き方改革 令和7年度策定の業務量管理・健康確保措置実施計画に基づき、時間外在校等時間の削減という「量」の観点に加え、教育全体の「質」の向上を目指した教職員の働き方改革を推進していく。その一環として、働きがいの向上や職場環境の改善につなげるため、教職員意識調査を実施する。</p>	15,560
<p>④ ◎特殊な清掃業務の外部発注 プール清掃、油引き、エアコン清掃、カーテンクリーニング等の特殊な清掃業務を外部発注し、教職員の負担軽減を図り、業務改善につなげる。</p>	82,000
<p>⑤ ◎学校園の教職員の職場環境改善 教職員の職場環境改善のため、職員用トイレ及び更衣室の改修を行う。</p>	65,833 (別途2月補正 53,710)
<p>⑥ ○教職員のメンタルヘルス対策 教職員の心の健康保持・増進のため、産業保健体制を強化して相談体制を拡充するとともに、メンタルヘルス対策をより一層充実させて、安心して働くことができる環境づくりを推進する。</p>	41,408

<p>⑦ スクールカウンセラーの配置 児童生徒や保護者の心のケアを図り、安心な学校づくりを進めるため、教育相談及び支援を行うスクールカウンセラーを全小中学校・高等学校に月4回配置、全特別支援学校に月2回配置する。</p>	364,968
<p>⑧ スクールソーシャルワーカーの配置 家庭・学校・地域及び関係機関の支援ネットワークを構築する福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーを効果的に配置し、児童生徒の健全な成長を支援するとともに、虐待や不登校等の早期発見・早期対応を進める。</p>	108,958
<p>⑨ スクール・サポート・スタッフの配置 教員が教材研究等の本来業務に注力できるよう、学校現場において業務補助を行うスクール・サポート・スタッフを全小中学校、特別支援学校に配置する。</p>	252,450

5 地域とともに作る開かれた学校

事業内容 (◎新規事業 ○拡充事業)	予算額 (単位：千円)
<p>① ○「KOBE◆KATSU」の推進(中学校部活動の地域展開)</p> <p>従来の部活動に代わり、中学生が校区に関係なく、多様な活動からやりたいことを主体的に選択して参加できる「KOBE◆KATSU」(コベカツ)の開始にあたり、必要な体制確保や環境整備に加え、保護者の経済的負担軽減や活動団体(コベカツクラブ)のサポート充実を図る。</p> <p>また、備品の購入など、活動環境を支援するため、「コベカツ支援基金」を新設する。</p> <p>【保護者の経済的負担の軽減策等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コベカツサポート(会費決済システム)の構築・運用 会費を公費により支援するため、1,500円/月(就学援助世帯：3,000円/月)分のポイント付与 ・参加者全員の保険料を公費負担 800円/年 ・西北神の一部地域における移動支援実証事業 等 	<p>503,146 (別途2月補正 1,297,400)</p>
<p>② コミュニティ・スクールの推進</p> <p>学校運営協議会を幼稚園・高校・特別支援学校を含む全ての学校園に設置し、学校園・保護者・地域住民等の相互連携をより一層促進することにより、学校運営の改善・向上や児童生徒の健全育成につなげる。</p>	27,725
<p>③ 学校施設開放事業</p> <p>学校施設の市民利用を図るため、施設利用のインターネット予約システムと施設の鍵のスマートロック化を連動させた体育館の夜間開放を実施する。</p> <p>また、引き続き市民のニーズを踏まえ、持続可能な学校施設開放事業の再構築に向け検討を行う。</p>	43,019

3 令和8年度歳入歳出予算事項別明細書

[予算第1号議案] 令和8年度神戸市一般会計予算（教育委員会関係分）

(1) 歳入歳出予算一覽

(単位 千円)

歳 入		歳 出	
款 項	金 額	款 項	金 額
17 使用料及手数料	790,261	13 教 育 費	137,952,146
1 使 用 料	784,861	1 教 育 総 務 費	13,171,525
2 手 数 料	5,400	2 教 育 振 興 費	1,865,624
18 国庫支出金	19,738,725	3 幼 稚 園 費	2,134,087
1 負 担 金	18,555,918	4 小 学 校 費	51,161,595
2 補 助 金	1,118,663	5 中 学 校 費	27,253,818
3 委 託 金	64,144	6 高 等 学 校 費	6,824,803
19 県 支 出 金	627,308	7 特 別 支 援 学 校 費	10,459,495
2 補 助 金	627,308	12 体 育 保 健 費	7,904,530
3 委 託 金	—	13 学 校 建 設 費	16,736,458
20 財 産 収 入	35,463	14 教 育 施 設 整 備 費	440,211
2 財 産 売 払 収 入	13,920		
3 基 金 収 入	21,543		
21 寄 附 金	55,000		
1 寄 附 金	55,000		
22 繰 入 金	94,749		
2 基 金 繰 入 金	94,749		
24 諸 収 入	3,284,971		
1 納 付 金	52,000		
2 措 置 費 等 受 入	436,975		
4 受 託 事 業 収 入	6,011		
5 貸 付 金 元 利 収 入	21,361		
7 雑 入	2,768,624		
25 市 債	7,128,000		
1 市 債	7,128,000		
歳 入 合 計	31,754,477	歳 出 合 計	137,952,146

(令和8年度職制改正の概要 解禁日)
○テレビ・ラジオ・インターネット
2月16日(月) 午後 会見開始時
○新聞
2月17日(火) 朝刊以降

教職員人事課

令和8年度 教育委員会の主な組織改正

(1) 市立中学校部活動の地域展開に向けた体制強化

令和8年の市立中学校部活動終了に伴う「KOBE◆KATSU(コベカツ)」の開始に向けて、児童生徒課に課長1名、係長1名、担当者1名を増員する。

※教育委員会のほかにもコベカツに関連して下記の体制強化を実施。

- ・文化スポーツ局スポーツ交流課に教員1名を増員
- ・文化スポーツ局文化交流課に係長1名を増員

(2) 学校規模適正化に向けた体制強化

学校規模適正化の取り組みを推進するため、学校環境整備課に課長1名を増員する。

(3) 産業保健体制の充実

教職員のメンタルヘルス対策の充実と産業保健体制の構築のため、教職員給与課に医師1名を増員する。

(4) 教育政策の企画調整機能の強化

政策の企画調整機能の強化を図るため、教育委員会事務局監理室と総務課を統合し、教育総務課として再編する。

(5) 教育法務監理機能の強化

学校法務専門官について、教育委員会全体における法務指導・助言を行う役割であることを明確化するため、教育委員会事務局付とし、名称を「教育法務監理官」に変更する。

(教育委員会事務局)

現 行

監理室
監理係
係長
学校法務専門官(2)

総務課
総務係
係長
課長(政策調整担当)
政策係
神出自然教育園

教職員給与課
係長(2)

学校環境整備課
課長(整備推進担当)(3)
係長(5)

健康教育課
課長(学校給食担当)
学校給食係
係長(6)
垂水学校給食共同調理場

部長(初等教育担当)
部長(中等教育担当)
学びの推進課

改 正 案

教育法務監理官(3)

教育総務課
総務係
課長(監理担当)
監理係
課長(政策調整担当)
政策係
共創推進係

教職員給与課
健康推進係

学校環境整備課
課長(整備推進担当)
係長(2)
課長(学校規模適正化担当)(3)
係長(3)

健康教育課
課長(学校給食担当)
学校給食係
係長(4)

部長(初等教育・学びの推進担当)

学びの推進課
神出自然教育園

児童生徒課
課長(コベカツ推進担当)(2)
係長(3)
学校法務専門官

特別支援教育課
課長(特別支援教育推進担当)

部長(中等教育・児童生徒担当)
児童生徒課
課長(コベカツ推進担当)(3)
係長(4)

特別支援教育課
課長(事業推進担当)